

口蹄疫防疫対策の更なる徹底を お願いします！

韓国では豚での口蹄疫の発生に続いて、新たに牛での発生も確認されました。また、他の東アジア諸国でも継続して口蹄疫の発生が確認されています。

2014年は以下の国で発生しています

口蹄疫：中国、香港、北朝鮮、モンゴル、ロシアなど

さらにこれからアジア地域における人・物の移動が一層盛んになる春節(2月19日)を迎えることもあり、日本国内への口蹄疫ウイルスの侵入リスクが極めて高い状況にあると考えられます。

牛豚飼養農家の皆様には、海外渡航者が農場に立ち入らないように注意すること、農場訪問者の記録など、更なる飼養衛生管理基準の遵守をお願い致します

牛や豚を飼育する上での衛生管理のポイント

- 1．病気に関わる最新情報の把握
- 2．牛舎・豚舎などの飼育区域（衛生管理区域）への病原体の持込みの防止
- 3．野生動物等からの病原体の侵入防止
- 4．牛舎・豚舎の衛生状態の確保
- 5．家畜の健康観察と異状が確認された場合の対処
- 6．その他（埋却等の準備、立ち入り者の記録など）

* 農林水産省ホームページの「家畜衛生に関する情報」も参考にして下さい
(http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/index.html)

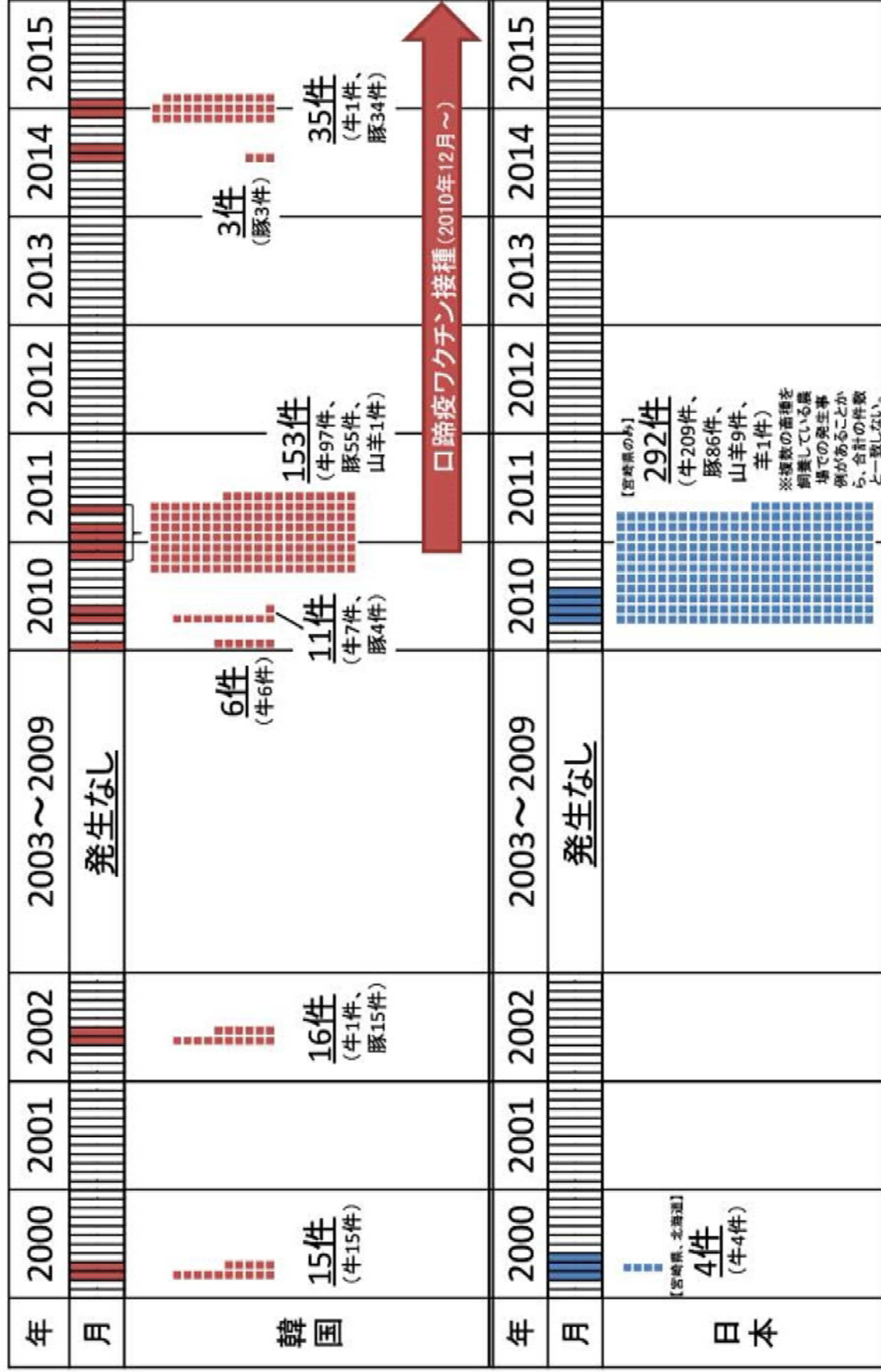
山梨県西部家畜保健衛生所

電話・・・0551-22-0771 FAX・・・0551-22-6728

夜間の連絡は・・・090-5564-1018

土日・休日の連絡は・・・090-5564-1018 または090-5508-0817

韓国及び日本における口蹄疫の発生状況



出典：韓国農林畜産食品部 2015年1月6日現在